

編集後記

■：「金ケツ病」にかかった欧州市場。先のG20首脳会合もギリシヤ、スペインなどの救済にてんてこ舞い。銀行への直接資本注入までやるそう。欧州の金融評論家に言わせれば年内に50%、中長期的には90%確率でギリシヤはユーロ離脱、だそう。

この国の政治家はデクの坊の典型、人気取りのバラ蒔き財政で役人を遊ばしてでも食べさせて来たから、国の金庫は空っぽに。わが国も赤字の山を抱えてますが、国民は勤労意欲が満々。アホの政治家を無視して日々充実というところですか。

■：日銀の6月・金融経済月報では「(景気)緩やかに持ち直しつつある」。国内需要が引き続き堅調に推移し、海外経済が減速から脱していけば、先行きは「緩やかな回復経路に復して行く」と予想。注意すべきは「世界経済をめぐる不確実性が引き続き大きい」から「欧州債務問題に伴う国際金融資本市場の状況を十分注意して見ていく」——ささやかな郵便貯金をしている庶民には余り関係ないですが。不確実性は毎度のコトですから。

■：台風4号には日本中が振り回されましたね。一部の地域では朝、小学生たちが登校したと思ったら折にも知らされた思いだったので。秋の台風シーズンならいざ知らず、6月の梅雨時期でしたから親の方もびつくり。「自然」について親子共々よく学んだことでしょう。

■：いよいよ消費税が現在の5%から14年には8%を経て10%に引き上げられます。高齢化が進み、社会保障費が増え続けると今の税率では賄えなくなるから。他の先進国では約20%が普通みたいですよ。今後は最高税率を引き上げたり、相続税の課税対象を広げる、つまりは金持ち富裕層への課税を強化すべきでしょうね。

■：お笑いコンビの男の母親が生活保護受給者。息子が年収50000万円もありながら、という訳でこんな現代の親子関係をマンガ的に浮き彫りにしたお話は最近珍しいですね。低俗、おふざけ、日本語の乱れの元凶のテレビ人間の懐具合にびつくり仰天といったところですか。日々のニュースかスポーツ中継しか見ない人間にとってはどうでもいい事です

が、テレビ会社ももう一寸世間への気配りがほしいものです。

■：スポーツ中継で最近頭に来ていたのは、プロ野球選手、それも強打者たる打順にある男たちが、とてもないボールをカラ振りする、それが最近とくに目立ちます。近所の少年野球のちびっ子が、あの不細工なカラ振りを見て「ホラ、プロの選手でもあんなバカボールを振るじゃないか」と自己弁解。少しはプロも子どもの手本になっている、ぐらいの意識を持ってほしいもの。

■：東京電力女性社員殺害事件の犯人と目されたネパール人男性(45)の家族3人。遺体に他の男の遺伝子が付着していたと分かり、再審開始決定を受けていったん釈放された家族と15年ぶりに再会、そろって帰国。一連の報道は多くの日本人をやきもきさせました。再会のその隣間の妻と娘2人の表情の輝きに心を打たれました。いつもツクリ物のテレビに慣らされた日本人にとってネパール人家族の一挙手一投足はまさに純粋な人間感情を憶い起こさせてくれました。被害女性の遺族は完全に「無視」、これも日本のテレビ屋の真骨頂？

月刊公論 MONTHLY
KORON

8月号 第45巻8号

平成24年8月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人
発行所

印刷所
取次店

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。